

構造改革特別区域計画

1. 構造改革特別区域計画の作成主体の名称

柏原市

2. 構造改革特別区域の名称

元気でにこにこ柏原給食特区

3. 構造改革特別区域の範囲

柏原市の全域

4. 構造改革特別区域の特性

柏原市(かしわらし)は、大阪平野の南東部、大阪府と奈良県との府県境に位置し、大阪の都心からわずか20kmほどの距離にありながら、市域の3分の2を山が占め緑豊かで、市の中央部を大和川が流れており多彩な自然環境にある。また、ぶどうの産地で秋にはぶどう狩りが楽しめ、柏原ワインも醸造されている。

面積は25.39km²、人口は約73,346人、世帯数30,770世帯(平成24年4月1日現在)のまちである。気候は、瀬戸内式気候に属しており、温暖で比較的少ない降水量となっている。

交通面では、JR大和路線(関西本線)と近鉄大阪線が南北に縦断して走っており、大阪都心部まで約20分という立地条件である。また、国道25号、国道165号、西名阪自動車道などが縦横に通っており、自動車によるアクセスも便利である。

昭和17年に玉手山高等学校(現関西福祉科学大学高等学校)が開校し、これを母体とし昭和40年に玉手山女子短期大学(現関西女子短期大学)開校、平成9年に関西福祉科学大学が開校するとともに、平成4年には大阪教育大学柏原キャンパスが開校する。また、本市内には、原始から古代、近世にわたり多くの遺跡や文化財があり、歴史的に貴重な地域と知られ、教育文化都市へと発展している。

これらの利点により、本市中心部は住宅化が進んでおり、これに伴い、共働き世帯の増加や核家族化も進行している。このことから、家族や地域の結びつきが希薄になる中、子育ての協力者や仲間を得ることが難しくなり、家庭における子育てへの負担や不安は増大している。親の悩みや不安は子どもの成長に様々な影響を及ぼすことが懸念され、子どもの健やかな成長のためには、保育サービスの向上及び、総合的な子育て支援策の充実が課題となっている。

このことより、本市では、公立・民間保育所をはじめとする様々な子育て支援施策を充実させてきており、特に公立保育所においては障害児保育、延長保育、生活面・精神面で支援が必要な家族への支援、児童虐待への対応、地域での子育て支援

活動などを実施し、さらなる多様な保育ニーズに対応した子育てしやすい環境づくりを目指している。しかしながら、公立保育所は、建築年が昭和41年から昭和50年と古く、調理室設備の老朽化と増加する保育需要により、自園調理では対応が困難な状況となっている。

5. 構造改革特別区域計画の意義

近年、女性の社会進出や就労環境の多様化や、ひとり親家庭の増加に伴い、子育て世帯を取り巻く環境は複雑化しており、家庭における養育機能の低下とともに、保育需要も増加・多様化する一方である。

保育所においても、より一層きめ細やかな保育サービスに対する取り組みが必要となっており、これらの需要に応えていくためには、保育所運営を効率化するとともに、親の子育ての負担を軽減するための施策を図る必要がある。

このことより、本特例措置を活用し、公立保育所における給食の外部搬入の実施により、衛生面や安全面また食育等に十分配慮するとともに、調理員の人件費の節減や給食材料の一元購入など、経費面での合理的な節減が図られ、その財源を保育サービスの向上はもとより、子どもの健やかな成長のための施策の充実に活用することが可能となる。

また、本市が定めた食育指導計画に基づき、園庭やプランターにての野菜づくりなど、きめ細かい食を通じた育成プログラムを実施することで、児童に対し生涯を通じた食への関心と正しい食習慣を身につけさせることができる。また、地元産の農産物の利用により、地産地消の推進、地域の活性化に寄与することが可能となる。

6. 構造改革特別区域計画の目標

- ① 給食の外部搬入方式の実施により、公立保育所運営の更なる効率化と、多様化する保育への保護者のニーズに対応し保育サービスの拡充及び子育て支援施策の充実を図る。
- ② 献立の評価検討を十分行うことにより、安全・安心で年齢や発達段階に応じたきめ細やかな給食を提供する。また、食物アレルギーを持つ児童に対しても、献立作成段階で、十分検討した上で除去食や代替食を用意するなど、柔軟に対応する。
- ③ 栄養士のもと、専門的な調理指導や安全で質の高い保育所給食を確保する。
- ④ 食育指導計画に基づき、季節に応じた野菜づくりや、クッキング体験を実施するなど、乳幼児期から身近な食材に慣れ親しむことで、食への関心と正しい食習慣を身につけさせ、子どもの健やかな成長に努める。それとともに、地産地消の推進により、地域の活性化を図る。

7. 構造改革特別区域計画の実施が構造改革特別区域に及ぼす経済的社会的効果

- ① 給食の外部搬入方式の実施により、保育所施設の維持管理費や調理員の配置等による人件費など経費の節減が図られ、保育所の効率的な運営が図れる。
- ② 衛生面や安全面において設備の整った大型調理施設にて、食材の一元購入及び調理することで経費節減を図ることができ、その財源を保育サービスの向上や子育て支援策の充実に活用できる。
- ③ 保育所において、食育指導計画に基づき園庭やプランターでの季節に応じた野菜づくりや、クッキング体験の取り組みなどを進めることで、乳幼児が身近な食材を通じて食に関心を持つとともにきちんとした食事マナーを身に付け、食を通して情緒の安定や感性を育むことができる。
- ④ 地元の農産物のぶどうをおやつとして購入することにより、地域の農業振興に寄与できる。

8. 特定事業の名称

920 公立保育所における給食の外部搬入方式の容認事業

別紙

1 特定事業の名称

920 公立保育所における給食の外部搬入方式の容認事業

2 当該規制の特例措置の適用を受けようとする者

柏原市立柏原保育所	柏原市大正 1-9-54
柏原市立国分保育所	柏原市国分本町 6-11-28
柏原市立円明保育所	柏原市玉手町 12-30
柏原市立堅下保育所	柏原市平野 1-6-2
柏原市立法善寺保育所	柏原市法善寺 3-801
柏原市立柏原西保育所	柏原市大正 3-8-8

3 当該規制の特例措置の適用の開始の日

構造改革特別区域計画の認定を受けた日

4 特定事業の内容

公立保育所の給食について、日本誠食株式会社で調理して搬入する外部搬入方式を実施する。各保育所には調理員を配置し、衛生管理に十分配慮した配膳を行うとともに、年齢に応じた給食提供、食物アレルギー児に対応した除去食や代替食の提供、体調不良児への柔軟な対応を行う。園児用の食器等は、洗浄・熱消毒し保管する。

5 当該規制の特例措置の内容

- (1) 公立保育所における給食の外部搬入の実施にあたっては、「保育所における食事の提供について（平成22年6月1日付け雇児発0601第4号）」における留意事項を遵守する。

各保育所の調理室の面積及び主な設備は以下のとおりである。なお、各保育所とも加熱設備としてガステーブル、保存設備として冷凍・冷蔵庫及び冷凍庫や保冷庫、配膳に必要な配膳車(国分保育所においては、配膳用大盆有)が備え付けてあり、再加熱、冷蔵・冷凍、保冷、配膳は可能である。各保育所に調理員を1名ないし2名を配置するとともに、体調不良児については、給食の量や食材の大きさ、柔らかさなどを調整し、保育所の調理室で乳幼児の体調に合わせた給食を調理し提供する。

(公立保育所調理室の状況)

	調理室 面積(m ²)	加熱設備	保 存 施 設			そ の 他		
		ガスステー ブル(口)	冷凍・冷 蔵庫(台)	冷凍庫 (台)	保冷库 (台)	配 膳 車 (台)	食 器 洗 浄機(台)	食器乾燥・保 管器(台)
柏原保育所	33.12	4	1	1	1	1	1	2
国分保育所	35.00	4	1	1	1	0 配膳大盆有	1	2
円明保育所	45.00	4	1	1	1	1	1	2
堅下保育所	32.00	4	1	1	1	1	1	2
法善寺保育所	28.00	5	1	1	1	1	1	2
柏原西保育所	40.00	4	1	1	1	1	1	2

(2) 外部搬入による給食は、1歳児から実施することとし、年齢等に応じて味付けや大きさ、固さ、量などを変えて提供する。給食の内容は独自の献立とし、給食の外部搬入については、日本誠食株式会社と委託契約を締結する。

(3) 外部搬入を行う場合の衛生基準については、「保護施設等における調理業務の委託について（昭和62年3月9日付社施第38号）」において準拠されている「病院、診療所等の調理業務の委託について（平成5年2月15日指第14号）」の第4の2の規定及び「保育所における調理業務の委託について（平成10年2月18日付児発第86号）」を遵守する。

給食の搬入については、加熱調理後、専用の保温食缶(シャトルドラム)に入れ、専用の給食運搬冷蔵車で配送する。搬入された給食は、保育所調理室で調理員により配膳し提供する。なお、再加熱が必要な場合は再加熱を行い配膳する。また、検食については、日本誠食株式会社で配送前に行うとともに、保育所においても提供前に検食を行う。

【給食の配送計画】

(平日・土曜日)

A号車 (法善寺保育所、堅下保育所、国分保育所)

9:00 出発 日本誠食株式会社



9:10 到着 法善寺保育所 (給食開始 11:00)

9:15 出発



9 : 2 5 到着 堅下保育所 (給食開始 1 1 : 0 0)

9 : 3 0 出発



9 : 4 5 到着 国分保育所 (給食開始 1 1 : 0 0)

B号車 (円明保育所、柏原西保育所、柏原保育所)

9 : 0 0 出発 日本誠食株式会社



9 : 2 0 到着 円明保育所 (給食開始 1 1 : 0 0)

9 : 2 5 出発



9 : 4 0 到着 柏原西保育所 (給食開始 1 1 : 0 0)

9 : 4 5 出発



9 : 5 0 到着 柏原保育所 (給食開始 1 1 : 0 0)

【日本誠食株式会社の概要】

名 称：日本誠食株式会社

設立年月：昭和38年12月

構 造：鉄骨造3階建

建築面積：316.13㎡ (1階2階3階 総調理面積…479.67㎡)

職 員：225人

事 務 6人

栄養士 9人

調理員 210人(調理師 54人、調理補助 156人)

調理能力：10,000食

調理器具：スライサー、回転釜、蒸し機、フライヤー、連続自動フライヤー、焼き器、連続自動ロースター、大型冷蔵庫、大型冷凍庫、食器洗浄機、ガステーブルなど

(4) 給食の内容については、毎月1回、保育所長代表1名、各保育所保育士、市の管理栄養士と日本誠食株式会社の調理責任者や栄養士等からなる給食委員会会議を開催し、前月分の献立の検証と次月の献立作成を行う体制とする。また、献立については、本市の管理栄養士の指導を受けながらこどもの発育・発達過程に

応じた必要栄養素量を確保する。さらに、1ヶ月ごとの献立表を保護者に配布し、献立の周知とともに献立に対する保護者の要望等の把握に努める。また、食物アレルギー児の対応については、入所前に保護者から詳しく聞き取り、保護者により1ヶ月分すべての献立の確認後、除去食や代替食の提供(医師による意見書が必要)などを行う。

なお、給食委員会会議決定事項及び食物アレルギー児の保護者による献立確認リスト等については、各保育所職員会議にて全職員出席(調理員を含む)のもと、周知徹底を行い、安全な給食の提供をする。